

**2023（令和5）年度事業報告書**  
（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

**I 主要な会議**

**1 理事会**

開催日	議案等	備考
令和5年4月1日	常務理事の選任の件	書面表決
令和5年5月30日	① 2022（令和4）年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 〈報告事項〉 ① 2022（令和4）年度資金運用の経過の件	通常理事会 （第1回）
令和5年8月15日	① 財団規則の変更の件 ・ 職員の給与及び旅費に関する規程 ・ 育児・介護休業等に関する規則 ・ 財務規程 ② 評議員会の開催の件	書面表決
令和5年9月28日	評議員会の開催（書面表決）	書面表決
令和5年10月23日	① 2023（令和5）年度事業計画及び収支 予算の変更の件 ② 財団規則の制定の件 〈報告事項〉 ① 2023（令和5）年度事業報告（上半期） の件 ② 2023（令和5）年度資金運用の経過の件	通常理事会 （第2回）
令和5年11月29日	評議員会の開催（書面表決）	書面表決
令和6年2月2日	① 2024（令和6）年度事業計画及び収支予 算の件 ② 2024（令和6）年度資金運用の執行方針 及び計画の件 ③ 臨時評議員会開催の件	通常理事会 （第3回）
令和6年3月26日	① 評議員会の開催（書面表決） ② 事務局次長の任免（書面表決）	書面表決

## 2 評議員会

開催日	議案等	備考
令和5年4月1日	理事の選任の件	書面表決
令和5年6月28日	① 2022（令和4）年度計算書類等の件 ② 評議員の選任の件 〈報告事項〉 ① 2022（令和4）年度事業報告書の内容の件 ② 2022（令和4）年度資金運用の経過の件	定時評議員会
令和5年8月30日	「役員等の費用の支給に関する規程」の変更の件	書面表決
令和5年10月1日	役員解任の件	書面表決
令和6年1月4日	理事の選任の件	書面表決
令和6年2月9日	① 役員選任の件 〈報告事項〉 ① 2023（令和5）年度事業計画及び収支予算の変更の件 ② 2024（令和6）年度事業計画及び収支予算の件 ③ 2024（令和6）年度資金運用の執行方針及び計画の件	臨時評議員会

## II 事業報告

### 【公益目的事業会計】

#### 1 屋久島環境文化村構想推進事業

##### (1) 環境学習

##### ① 自然・文化体験事業

##### ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行った。

名称	内容	開催日	参加者数
まるごと屋久島研修講座～里編～			
	島内一周，バスレクチャー，西部林道，大川の滝の自然観察など	令和5年4月15日	10人
まるごと屋久島研修講座～森編～			
	ヤクスギランド散策	令和5年4月22日	17人
地球にやさしい春旅from屋久島～生命が満たされる島時間～			
	里山の文化体験，太忠岳トレッキングなど	令和5年5月3日～5日	12人
#屋久島でしたい100のこと #暮らすように旅する #U29女子会			
	自然散策，集落散策	令和5年7月9日	3人
子ども屋久島大冒険！			
	野外炊飯，蛇之口の滝登山&滝つぼスイミング，ウミガメ観察など	令和5年8月3日～5日	(中止)
やくしま水旅 ～海のいのちにふれる3日間			
	白谷雲水峡散策，シュノーケリング，ウミガメふ化調査体験	令和5年9月16日～18日	2人

名称			
	内容	開催日	参加者数
秋の鳥見トレッキング i n 小杉谷			
	トロッコ道トレッキング, 野鳥観察など	令和5年10月29日	16人
企業向けSDGs講座			
	自然散策(ヤクスギランド, 千尋の滝, 滝之川一枚岩, 松峯大橋), 一湊集落里めぐり, 施設見学(村センター, 茶園, 自然館, 町庁舎), グループ対話など	令和6年3月1日~2日	5人

#### イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に, ふるさとの新たな一面を再発見し, 屋久島の自然環境や文化に対する意識の醸成を図るため, 屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
<p>&lt;研修センターオープンデー&gt;            研修センターの活動PRの一環として, 親子で楽しめる科学実験等の催しを行った。</p>			
	屋久島フィールドマスター, つの巻き体験, ちりめんモンスター, バードコールづくり, ロケットブースターづくり, 軽石からガラスづくり	令和5年6月18日	175人
<p>&lt;子どもエコ隊活動事業&gt;            子どもの頃からの自然環境に対する意識を醸成し屋久島の未来を担う人材の育成を図るため, 町内小中学生を対象に体験的な環境学習を行う。            「SDGsから屋久島の持続可能な暮らしをかんがえよう!」のテーマで, 計3回実施した。</p>			
第1回	オリエンテーション・仲間作り ・持続可能な循環型生活体験	令和5年7月1日~2日	24人
第2回	登山, 山中泊体験 楠川歩道トレッキング, 白谷小屋キャンプ	令和5年11月4日~5日	21人
第3回	食・住チャレンジ・年間発表会 焼物窯見学, 段ボールハウスづくり, アウトドアクッキング, 年間活動発表会, SDGsジュニアリーダー任命式	令和6年2月3日~4日	21人

名称			
	内容	開催日	参加者数
<p>&lt;自然に親しむ集い&gt; 町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行った。</p>			
	・夏休み企画！ペットボトル大作戦 (世界遺産センター) 【環境省】	令和5年8月20日	4人
	・コケの世界へようこそ (屋久島総合自然公園) 【屋久島町】	令和5年9月9日	2人
	・アサギマダラマーキング会	令和5年11月12日	17人
<p>&lt;幼児環境教育推進事業&gt; 幼少期における自然とのふれあいを通じ、環境意識の基盤形成を図るため、町内未就学児とその保護者を対象に野外体験活動を行う。</p>			
	第1回 秋の森でおさんぽの会	令和5年10月9日	28人
	第2回 冬のクリスマス会	令和5年12月3日	12人
	第3回 焚火でほくほくやきいもの会	令和6年1月14日	18人
	第4回 親子deでわくわくチャレンジキャンプの会	令和6年2月24日～25日	12人
<p>&lt;屋久島国立公園における自然体験活動等支援業務&gt;</p>			
	・屋久島★口永良部島交流kids camp  (事前学習会)	令和5年11月18日～19日 中止  令和5年11月11日	—  19人)
<p>Forest day ～「森と人がつながっている」を実感する1日～</p>			
	「森と人との関わり」をテーマに様々な団体と協働し、森と人が織りなす持続可能な「共生と循環」の文化を島民に広く普及する。	令和6年2月18日	164人

#### ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、8月21日から9月18日までのうち各2週間、北海道教育大学4年生、鹿児島大学大学院修士2年生、立命館アジア太平洋大学3年生の各1人、計3人に屋久島環境文化研修センターでの職場体験を行った。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

また、宿泊研修を実施する団体に限り、より効果的な学習の場となるよう、希望する団体には、オンラインでの事前研修を行った。

さらに、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」において、環境文化に対する学生の理解を深めるため、屋久島をフィールドとする支援活動を実施した。

区分	令和4年度		令和5年度			
	団体数	参加者数	団体数	前年同期比	参加者数	前年同期比
宿泊研修	46団体	2,615人	48団体	104.3%	3,040人	116.3%
一日研修	35団体	841人	33団体	94.3%	836人	99.4%
短時間研修	8団体	84人	7団体	87.5%	82人	97.6%
合計	89団体	3,540人	88団体	98.9%	3,958人	111.8%

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校の生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めるための環境学習に関する研修、他の地域で環境保全活動を行っている団体等との交流に対して支援を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
宿泊研修			
	実地研修（地質調査，調査発表会）	令和5年6月13～14日	8人
宿泊研修			
	実地研修（水中生物調査，調査発表会，ヤクスギランドでの植生観察）	令和5年10月17日～18日	8人
宿泊研修			
	実地研修（島内の産業調査，調査発表会，里めぐり）	令和6年1月17日～18日	8人
合計		3回実施	24人

- ④ 出張屋久島講座  
町内の児童・生徒等に，屋久島の環境学習を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
中央中学校			
	(1年生) SDGsボードゲーム	令和5年4月25日	64人
	(2年生) SDGsボードゲーム	令和5年11月8日	51人
	(1年生) ウミガメの生態, 海洋ゴミについて	令和5年11月10日	51人
永田小学校			
	(3・4年生) 川の生き物観察	令和5年7月3日	4人
	川の活動	令和5年7月19日	16人
宮浦小学校			
	(6年生) 屋久島の環境問題について	令和5年7月6日	27人
	(職員) 教育課程編成検討会	令和5年8月21日	18人
	(6年生) 屋久島の未来について	令和5年9月28日	31人
	(6年生) 屋久島の持続可能な社会について	令和5年12月4日	28人
	(家庭教育学級) SDGsボードゲーム	令和6年3月9日	12人
縄文の宿まんてん			
	五感で感じる！世界遺産屋久島の魅力	令和5年9月24日	15人
一湊小学校			
	(5・6年生) 一湊川のつくりや生き物の観察	令和5年10月19日	42人
安房小学校			
	(1～4年生) 身近な海や川をユニバーサルデザイン視点で考える	令和5年11月14日	136人
	(5・6年生) 身近な海や川をユニバーサルデザイン視点で考える	令和5年11月15日	74人
合計		14回実施	569人

⑤ ユネスコスクール連携推進事業

ア ESDアドバイザー

町教育委員会等と連携して「持続可能な開発のための教育」(ESD)に取り組む町内教育機関に、町から委嘱を受けたESDアドバイザーとして、積極的にユネスコスクール登録を支援するとともに、SDGsへの理解の促進を図るため、町内の学校等へカードゲームを通じた学習の機会を提供した。

教育機関名			
	内容	開催日	参加者数
永田小学校			
	(3・4年生) 川と海のつながり	令和5年7月4日	20人
一湊小学校			
	(5・6年生) SDGsボードゲーム	令和5年7月6日	11人
安房保育園			
	(年長) お茶づくり体験と海岸散策	令和5年9月7日	19人
	(年長) 囲い込み漁	令和5年9月28日	20人
	(年中・年少) 動物探しとビーチコーミング	令和5年11月16日	34人
	(全) ヤクスギランド探検	令和6年1月11日	52人
	(年中) 循環のフィールド見学, 段ボールコンポストづくり	令和6年2月9日	14人
安房小学校			
	(3年生) SDGsボードゲーム	令和5年10月6日	30人
	(1年生) 秋探しネイチャーゲーム, 秋のクラフト	令和5年11月7日	36人
	(3年生) SDGsとヤクザルの共生について	令和6年1月16日	35人
	(5年生) 木のある暮らし, 水の循環	令和6年2月27日	38人
	(6年生) 世界の環境とハワイについて	令和6年3月5日	28人
合計		12回実施	337人

イ 屋久島型ESDステークホルダーミーティング

学校, 屋久島町関係者, 企業, 各種団体等が, お互いの仕事内容やSDGs/ESDに関する取組について情報を共有し, ネットワークをつくとともに, 屋久島の未来に関する課題解決のために自分たちでできることや協働できることを協議した。

内容	開催日	参加者数
講話「企業と学校の連携によるESDの実践」, ワークショップによる取組紹介・協議・情報共有	令和5年11月29日	53人



⑥ 屋久島研究講座

町内在住者を対象に、屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り、その未来を担っていく人材を育成するため、屋久島等をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
世界遺産について知ろう！～環境省の世界自然遺産担当者のしごととは～			
環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐／世界自然遺産専門官 松木 崇司	令和5年7月14日	屋久島町役場本庁	42人
黒潮を耕す屋久島とトカラ海峡－黒潮とその下流を肥沃化するトカラ・屋久島周辺海域の重要性			
東京海洋大学海洋環境科学部門准教授 長井 健容	令和5年7月17日	屋久島環境文化村センター オンライン併用	28人
白神山地～マタギのお話～			
白神マタギ舎代表代理／マタギ 工藤 茂樹	令和5年7月25日	屋久島町屋久杉自然館	65人
小笠原諸島～進化と変化を続ける島々の自然と暮らしを紡ぐ人々～			
小笠原役場 環境課自然環境係主査 井上 直美	令和5年10月9日	屋久島町屋久杉自然館	58人
「屋久島の海の森：藻場のこれまでとこれから」			
鹿児島大学大学院連合農学研究科教授，研究科長 寺田 竜太	令和5年11月18日	屋久島町役場議会棟	32人
「奄美大島・徳之島～それぞれの島に生息・生育する希少な固有種と自然保護の取組～」			
奄美市立奄美博物館 平城 達哉	令和5年11月23日	屋久島町屋久杉自然館	32人
テーマセッション1「屋久杉の謎を追って」			
屋久島学ソサエティ	令和5年12月16日	屋久島町役場フォーラム棟 オンライン併用	63人
テーマセッション2「屋久島の若手実働家は未来を語る：世界遺産を活かす道とは」			
屋久島学ソサエティ	令和5年12月17日	屋久島町役場フォーラム棟 オンライン併用	58人

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
知床～知床の多様な鳥類＋海獣			
知床ウトロ海域環境保全協議会事務局長，知床海鳥研究会代表 福田 佳弘	令和6年1月10日	屋久島町屋久杉自然館	45人
西表島			
NPO法人トラ・ゾウ保護基金（JTEF），やまねこパトロールマネージャー，竹富町観光案内人，環境省 鳥獣保護監視官 村田 行	令和6年2月7日	屋久島町屋久杉自然館	47人

## (2) 環境形成

### ① 環境保全活動支援事業

#### ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部の環境保全について啓発を図るため、縄文杉デッキにおける登山者へのマナー指導（5月4日、11月21日）や、関係機関とともに荒川登山道の安全点検（7月21日、2月21日）を行った。また、登山者向けのマナーガイドブックの作成や配布を行ったほか、観光客が猿に餌をあげないように、啓発クリアファイルを作成して希望するレンタカー事業者に配布した。

#### イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取組を推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参画及び支援を行うとともに下記セミナー等を開催した。

その他、自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として、広く町内外から希望者を募り自然体験活動指導者養成講習会を行った。

区分	開催日	参加者数
インタープリタートレーニング講座	令和5年6月8日～11日	3人
野外活動指導者養成セミナー	令和6年1月23日～26日	5人
日本赤十字救急法基礎・救急員養成講習	令和6年1月24日～26日	6人
屋久島ガイドセミナー	令和6年2月14日～16日	14人

#### ウ 生物多様性保全事業

屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者や環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対し、支援・助成を行った。

なお令和5年度は、応募件数の増加により屋久島町に対して補助金申請を行い、500千円の支援を受けて実施した。

団体等名	調査研究等内容
鹿児島大学共同獣医学部臨床獣医学講座臨床病理学分野 教授 大和 修	ヤクシカ肉の品質評価に関する研究
東邦大学理学部生命圏環境科学科 講師 山崎 大志	屋久島に固有な海産巻貝の進化史に関する研究：ホリカワタマキビを例とした検証
Yakushima Film 田中 俊蔵	屋久島島内河川および沿岸域の定期的な生物相調査
口永良部島哺乳類研究グループ 准教授 藤田 志歩	口永良部島における生物多様性保全に向けた哺乳類層の基盤データ整備
北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授 相場 慎一郎	屋久島の異なる標高にある原生的森林の長期動態
京都産業大学生命科学部 准教授 高橋 純一	屋久島におけるニホンミツバチの保全とハチミツの品質評価
長崎総合科学大学 准教授 持田 浩治	自動音声解析による屋久島内のヒヨドリの動態解明
東京農業大学農学部昆虫学研究室 教授 小島 弘昭	新種の宝庫！屋久島のゾウムシ類の多様性解明

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・ふ化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理や保護柵の設置、海浜の清掃活動を行った。

- ・ うみがめ保護遮光林維持管理

委託先	委託期間	実施場所
永田区 一湊を語る会	令和5年11月26日～ 令和6年3月15日	永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜，二ツ浜）

- 保護柵の設置及び海浜の清掃活動

主催団体	実施日	実施場所
屋久島町エコツーリズム推進協議会	令和5年4月24日	永田（いなか浜）

- マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びウミガメ繁殖環境の保全を行った。また、栗生区、永田区においては、年度末に追加の美化作業を行った。

実施団体	実施日	実施場所
栗生区	令和5年7月16日	塚崎海岸（第1回）
永久保区	令和5年7月23日	田代海岸
栗生区	令和5年12月16日	塚崎海岸（第2回）
永田区	令和6年2月13日	永田浜（前浜、いなか浜）
永田区	令和6年3月9日	永田浜（前浜、いなか浜）
栗生区	令和6年3月17日	塚崎海岸（第3回）

- ② 屋久島動植物調査等事業

令和6年度に増刷を予定している「植物ガイド」の改訂にむけて編集者等の選定など準備を進めた。

- (3) ネットワーク形成

- ① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの活動支援、環境省屋久島自然保護官事務所のパークボランティアなど他のボランティア団体との共同活動及び活動状況の情報発信を行った。

- 環境文化ボランティアの活動

実施日	内容
令和5年5月9日	大型客船（ハンセアティックネイチャー）見送り
令和5年5月10日	大型客船（にっぽん丸）見送り
令和5年5月21日	大型客船（にっぽん丸）見送り
令和5年5月24日	大型客船（ル・ソレアル）見送り
令和5年6月16日	大型客船（ハンセアティックネイチャー）見送り
令和5年6月19日	大型客船（ハリテージ・アドベンチャー）見送り
令和5年8月19日	マナー啓発活動（サルの餌付け）

実施日	内容
令和5年8月30日	大型客船(ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション)見送り
令和5年9月2日	アメリカハマグルマ駆除
令和5年9月12日	大型客船(ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション)見送り
令和5年9月23日	大型客船(ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション)見送り
令和5年10月3日	大型客船(にっぽん丸)見送り
令和5年10月10日	大型客船(コラルアドベンチャー)見送り
令和5年10月11日	大型客船(コラルアドベンチャー)見送り
令和5年10月13日	大型客船(コラルアドベンチャー)見送り
令和5年11月5日	大型客船(スター・フリーズ)見送り
令和6年3月17日	大型客船(にっぽん丸)見送り

② 屋久島ファンクラブの加入促進

ファンクラブの加入促進や認知度向上を図るため、町内外のイベント等において勧誘活動を行うほか、村センター来館者等に対し、財団の「やくしまアプリ」のインストールを勧め、ファンクラブ加入の案内等を行った。

屋久島ファンクラブ会員数	670人
うち令和5年度新規加入者	86人

③ 財団情報誌の発行

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 8ページ)の発行(3,000部/号)

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	主な内容
第84号	令和5年7月	屋久島型ESDとは?
第85号	令和5年11月	屋久島・口永良部島潮下帯海域における甲殻類相の解明
第86号	令和6年3月	屋久島のブルーーツーリズムについて

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行（6,500部／月）

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。また、バックナンバーも含め、ホームページにも掲載している。

④ 研究者ネットワークとの連携

屋久島の住民と研究者が共に学び合う組織である「屋久島学ソサエティ」と連携し、研究者や専門家による屋久島における調査・研究成果の共有と地元への還元として、屋久島研究講座を開講した。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会の運営等

協議会運営の事務局として、里めぐり参加者の受付及び集落との調整のほか、集落の語り部のスキルアップ研修等の人材育成を行った。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員  
屋久島町、財団、集落（永田、吉田、一湊、宮之浦、春牧、平内、中間、本村、安房、楠川）
- ・ 目的  
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し、屋久島の里地へ観光の幅を広げ、新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

集落名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
吉田	1人	1回	51人	13回	5人	5回
宮之浦	90人	21回	64人	28回	86人	25回
春牧	57人	22回	97人	19回	99人	16回
平内	15人	7回	12人	5回	7人	5回
中間	27人	6回	21人	4回	38人	10回
永田	0人	0回	0人	0回	31人	10回
一湊	54人	12回	115人	20回	42人	15回
本村	1人	1回	18人	5回	11人	6回
安房	一人	一回	33人	10回	31人	8回
楠川	一人	一回	42人	7回	26人	10回
合計	245人	70回	453人	111回	376人	110回

#### イ 里めぐりの推進

里めぐり未実施集落の地域資源の開拓・調査及び実施に向けた支援を行うことにより里めぐり参加集落の拡大を図るとともに、旅行エージェント等向けのモニターツアーの実施及び情報誌等を活用した情報発信等により集客を図った。

#### ウ 奄美まち歩き団体等との連携

奄美地域のまち歩き団体等との交流促進を図り、相乗効果による地域の活性化と環境文化の継承を図るほか、徳之島における加入団体を模索した。

#### エ 屋久島の名所・旧跡等説明看板の利活用及び維持管理

屋久島の里の魅力を発信するため、これまでに設置してきた名所・旧跡等説明看板の利活用を図るとともに、既設看板の維持管理を行った。

また、インバウンド対策として既存看板の多言語化を進め、スマートフォン等を利用して看板の内容が理解できる仕組みを構築し、既存看板に二次元コード（QRコード）を設置することにより利活用の向上を図った。

### ② 地域づくり支援事業

屋久島の環境文化に関わる地域づくりに資する各種イベント等の開催や伝統芸能、文化芸術活動に対し支援を行った。

団体等名
活動内容
屋久島選抜チーム後援会
全国離島交流中学生野球大会 屋久島選抜チーム支援事業

### ③ 特産品開発事業

屋久島町の女性団体等と連携し、町内外に新しい魅力を発信するため、地元食材を活用した屋久島の郷土料理講習会を開催していたが、令和5年度は休止とした。

### ④ 屋久島の未来と環境文化を考える新たな協働事業

#### ア 「30周年記念事業」活動

##### 1) ドキュメンタリー映像作成

写真家日下田紀三氏の移住体験を通じて見た屋久島の推移を、「屋久島の記」と題して日下田氏のインタビュー及び写真、MBC撮影映像、島外者へのインタビュー映像などにより構成したドキュメンタリーを制作し放送した。

#### イ 「環境文化全国展開事業」活動

##### 1) やくしまじかん懇談会の開催

これまで継続してきた、屋久島の目指すべき基本方向について議論する有識者懇談会を第2回世界自然遺産5地域会議に合わせて、京都で開催した。

##### 2) 環境文化理念の検討・普及事業

屋久島から国内外に発信する自然保護の理念として「共生」「環境文化」を掲げてきたが、その理念をさらに深め普及していくために、有識者へのヒアリングや講演会等を開催した。

##### 3) SDGs企業研修モデル作成

SDGsの企業研修のモデル（カリキュラム、現場体験）を屋久島の現場において、具体的に検討したものを、MBC南日本放送の協力を得て検証した。

#### 4) 奄美連携事業

県内の2つの世界自然遺産が連携して一味違う鹿児島県の観光アピール方策、手段等について検証するための資料収集や現地確認を行った。

#### ウ アドバイザー体制の構築

現3人のアドバイザー（統括、事業、30周年事業）による、財団運営への提言に加え、役員・顧問の一部や外部有識者へのヒアリングを実施し、サポート体制整備への提言をまとめた。

#### ⑤ 自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産共創事業

屋久島・白神の世界自然遺産登録30年を契機として、わが国の世界自然遺産5地域の連携の強化、各地域の課題の共有並びに環境文化の理念の提示及び政府等への政策提言等を目指すとともに、2025年の日本国際博覧会「TEAM EXPO 2025」のプログラム「共創チャレンジ」に参画し、日本の世界自然遺産の国際的な発信及び評価を高めていくことを目的に、第2回「世界自然遺産5地域会議」を京都で開催した。

#### (5) 国際交流

留学生ホームステイ受入事業（24年度～、9回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学、鹿児島国際大学及び志学館大学の留学生を町内家庭で受け入れ、屋久島の文化や暮らしの体験を実施していたが、コロナ禍により令和元（2019）年度以降実施できなかったこともあり、受入家庭の調整が取れずに実施に至らなかった。



## 2 中核施設管理運営事業

### (1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託（指定管理者）し，その適切な管理を行うとともに，経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。また，両施設の利用者増を図るための各種利用促進策を実施した。

#### ① 村センター管理運営 入館者

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度比
入館者数	30,757人	42,417人	46,136人	108.8%
うち有料観覧者数	4,113人	7,961人	9,561人	120.1%

#### 貸出施設

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	70回	76日	63回	91日	75回	77日
交流ホール	6回	148日	10回	249日	6回	153日
大型映像ホール	5回	5日	5回	5日	7回	8日

#### ア 施設利用促進策

施設利用促進策については，以下のとおり実施した。

- (ア) 町内宿泊施設等への案内リーフレットの配布
- (イ) 鹿児島港南ふ頭や高速船ターミナル，宮之浦港，安房港，町内宿泊施設等へのポスター配布，掲示
- (ウ) 宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場における到着時の誘客活動
- (エ) 県内外の旅行代理店等へ来館の働きかけ
- (オ) 島内外のイベントにおける財団PR
- (カ) 「やくしまアプリ」を活用した広報・割引制度
- (キ) 展示機器の更新

イ 交流ホール展示

開催日	内容	備考
5月16日（火） ～6月25日（日）	23, r 5. 春にかく・第5回+α展	
8月18日（金） ～8月19日（土）	外来種企画展の開催	
9月1日（金） ～9月30日（土）	口永良部島写真展	
10月17日（火） ～11月16日（木）	23, r 5. 秋にかく・第6回+α展	
12月1日（金） ～12月27日（水）	小中学生作文の展示（屋久島レクリエーションの森保護管理協議会）	
12月15日（金） ～12月27日（水）	絵画コンクール作品展示（環境省）	
2月12日（月） ～3月17日（日）	木更津の柳絮展	

ウ 映画上映会

島民の福祉の向上を目的として、映画上映会を実施しており今年度は、1週間で、4作品を上映した。

また、開催に当たっては、屋久島町一湊出身の高橋忠仁氏の寄付を活用した。

開催日	映画名	来場者数
2月18日（日）	東京ウィンドオーケストラ	52人
2月19日（月）午前	それいけ！アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント	114人
2月19日（月）午後	それいけ！アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント	110人
2月23日（金）	十五才 学校IV	27人
2月24日（土）	ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー	124人

② 研修センター管理運営

利用者

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年度比
利用者数	5,853人	5,555人	6,553人	118.0%

貸出施設

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	10回	10日	13回	13日	15回	15日
視聴覚室	2回	2日	1回	1日	4回	4日

ア 施設利用促進策

- (ア) 例年、県内及び県外のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）及び県内小中学校等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図った。
- (イ) 6月にオープンデーを実施した。
- (ウ) 隣接する屋久島世界遺産センター及び屋久杉自然館と連携したイベントの開催等により施設の知名度向上及び利用促進を図った。
- (エ) 冬季対策として、町内の未就学児とその保護者を対象に野外体験活動を計4回実施し、施設の利用促進を図った。

③ 財団ホームページ等の管理運用と情報発信

財団ホームページ及び「やくしまアプリ」の適正な管理運用を行うとともに、SNSの活用により、日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

町教委から研修課職員3人が「ESDアドバイザー」に委嘱され、「屋久島型ESD」の推進やSDGsの普及のために町内小中学校の職員研修や授業に招へいされ講義等による環境学習を実施した。

屋久島高校から研修課職員2人が「高校魅力化コーディネーター」に委嘱され、総合的な学習の時間や課題研究の教科等の授業に招へいされ講義等による環境学習を実施した。

⑤ 世界自然遺産登録・財団設立30周年記念事業

屋久島が世界自然遺産登録から30周年を迎えることから、関係行政機関と共催で記念事業を11月25日に行った。

併せて、当財団も設立30周年を迎えることから記念事業として世界自然遺産5地域で活躍される方々を招へいして講演会等を開催した。

講演会内容は次のとおり。

地域	日時	講演者	参加者数
白神山地	令和5年7月25日（火）19時	工藤茂樹（白神マタギ舎）	65人
小笠原諸島	令和5年10月9日（月）19時	井上直美（小笠原村役場）	58人
奄美・徳之島	令和5年11月23日（木）19時	平城達哉（奄美博物館）	32人
知床	令和6年1月10日（水）19時	福田佳弘（知床ウトロ海域環境保全協議会）	45人
やんばる・西表	令和6年2月7日（水）19時	村田 行（NPO法人トラ・ゾウ保護基金）	47人

## 【収益事業会計】

### 書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、屋久島環境文化財団書籍とオリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード、キャラクターのスタンプ入りエコバッグ）、屋久島WAONカード、屋久島関連書籍とグッズ、屋久島の植物（苔玉等）の販売を行った。

## 【法人会計】

### 管理費

本部管理費

#### ① 本部管理費

##### ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

##### イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、賛助企業への加入、協力を呼びかけている。

##### ウ 屋久島世界自然遺産登録30周年事業

財団が設立30周年を迎えるため、過去10年間の沿革をまとめるほか、屋久杉で制作した感謝状を贈呈した。

ファンクラブ会員（長期継続者）		
馬場 万知	東京都豊島区	平成5（1993）年から更新継続
光武 司	福岡県北九州市	同上
北村 良介	鹿児島県始良市	同上
高額寄付者（個人）		
渡辺 昭代	神奈川県横須賀市	平成12（2000）年から更新継続 会費・寄付累計額459,000円

#### ② 職員スキルアップ事業

各種セミナー、学会、講習会、インタープリターズキャンプ等の参加や調査・研究を支援し、職員のスキルアップを図った。

## 2023（令和5）年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。